

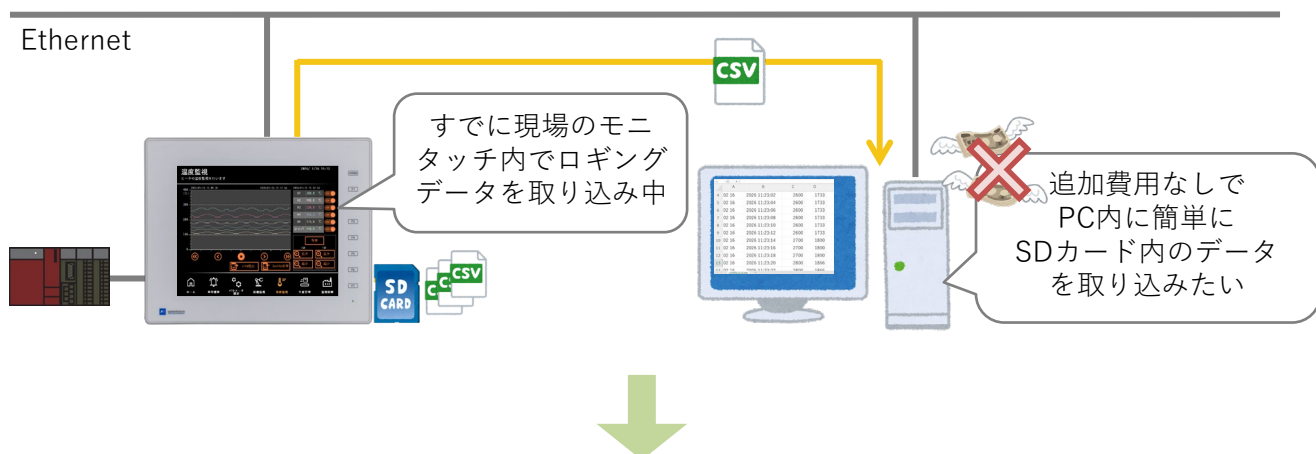
ロギングデータをPCに保存する 3つの方法のご紹介

モニタッチのロギングとは…?

指定したデバイスの値の推移を履歴として保存する機能です。
トレーサビリティの観点から、データをPCにバックアップする方法を
特長別に3つご紹介します。

1. データ転送サービス / FTPサーバ

V10 / V9 / TS4000



モニタッチの「データ転送サービス / FTPサーバ」がおすすめ

ロギングはモニタッチで完結！
ストレージに出力されたCSVファイルを「データ転送サービス（FTPクライアント）」
または、「FTPサーバ」の機能を使って、PCに転送します。

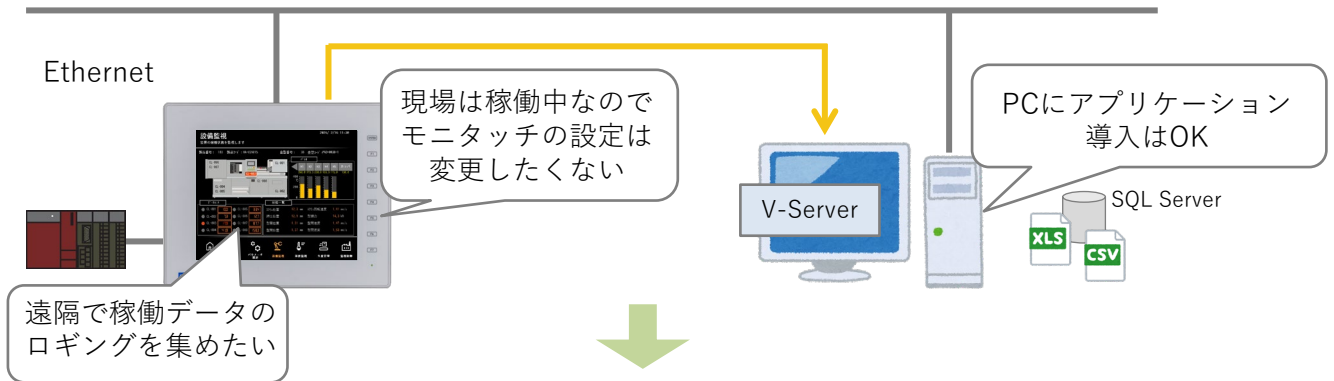


- ・モニタッチ上に履歴を表示できる
- ・ストレージの抜き取りをしなくてよい
- ・モニタッチからPCにCSVファイルの自動転送ができる
（「データ転送サービス」+「スケジューラ」）

実現するには、Ethernet環境が必須です。
データ転送サービスではPC側にFTPサーバの用意、FTPサーバ機能ではPC側でFTPクライアントの操作が必要です。

2. V-Serverのロギング機能

V10 / V9 / TS4000



PC側に「V-Server」を導入するのがおすすめ

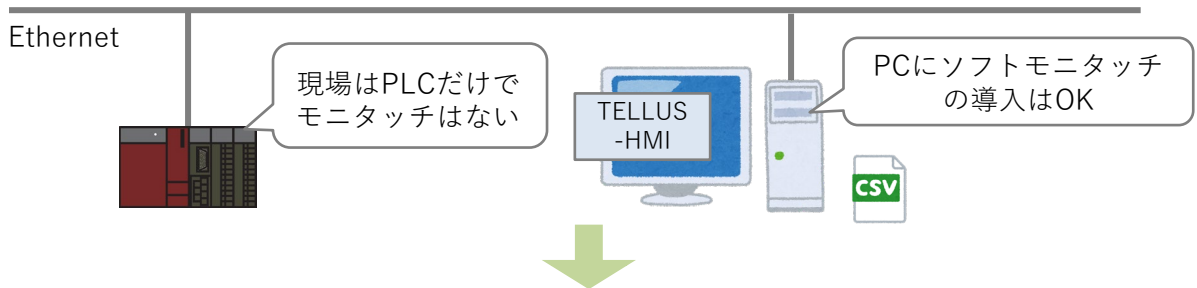
PCに弊社製データ収集ソフト「V-Server」を用意し、モニタッチを経由してV-Serverでロギングデータを直接PCに保存します。



- ・ CSV / Excel / データベースへの保存に対応している
- ・ モニタッチに追加の設定をしなくてよい

V-Serverのライセンスが必要です。 / V-Server (PC) とモニタッチはEthernetで接続します。

3. TELLUS-HMIのロギング機能



PC側に「TELLUS-HMI」を導入するのがおすすめ

PCに弊社製ソフト「TELLUS」を用意し、モニタッチの代わりにTELLUS-HMI機能でロギングデータを直接PCにCSV保存します。



- ・ モニタッチの画面データと同じように作成/設定できる
- ・ モニタッチの有無を問わない

TELLUS-HMIのライセンスが必要です。
対応PLC機種は、HPの接続可能機種を確認してください。(Ethernetもしくはシリアル接続です)

